

2022 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

はじめに

F D推進委員長 土井 良子
(2022 年度)

2010 年度に「授業改善のための学生アンケート」が本学に導入されてから、本年度で 12 年目を迎えました。これもアンケートにご協力くださいました学生・教職員の皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

これまでアンケートの実施方法等に対して、学生・教職員の皆さまから様々なご意見やご要望を頂きました。また 2020 年度後期より実施方法を Web 利用に変更した結果、一部授業では回答率が低下する等の問題が見られました。

そこで F D 推進委員会が主体となって改善策を検討した結果、今年度よりアンケートの実施対象科目を見直し、一度に実施する科目数を絞り込むことで回答にかかる負担の削減を図ることにいたしました。この改善によりアンケートの回答率が向上し、実施目的に沿って、さらに効果的にアンケート結果を活用いただけることを願っております。

以下の通り、前期の結果につきましてご報告いたします。

学生・教職員の皆さまの多様なご意見を共有し、力を合わせてよりよい大学を作っていくことを願って、引き続きアンケート結果の活用を図って参りたいと思います。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただきましたすべての学生・教職員の皆さまに改めて御礼申し上げます。今後ともご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

目 次

1. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要	
① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設問の内容	2
⑥ 実施科目数	4
2. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果	
① 学部	5
3. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて	
① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	10
② FD推進委員会からのメッセージ	12
4. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業	
① 顕彰授業	13
② 顕彰授業における工夫	14

1. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実施期間：2022 年 7 月 8 日（金）～7 月 28 日（木）

実施対象：原則としてすべての前期多人数科目

（多人数科目とは、原則として履修者が 26 名以上の科目をいう。ただし授業形態や、学科・センターの指定により、対象科目を増減する場合があります）

調査方式：Campus Square（Web） 自由記述欄あり（p.3,4 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 10 分

③ 実施方法

- 1) アンケート開始前、FD推進委員会より全学生に対し実施目的や回答期間等をCampusSquareにて掲示を行い、授業担当教員からも、学生に対し実施目的をよく読み回答を行うように掲示する。
- 2) 学生はアンケート締切日までに CampusSquare 内で回答をする。

④ 設問の内容

設問と回答選択肢は以下の通り。

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
I. すべて出席した II. 半期で1～2度欠席した
III. 半期で3～4度欠席した IV. 半期で3分の1以上欠席した
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
I. 週2時間以上 II. 週1～2時間 III. 週30分～1時間
IV. 週0分～30分 V. 全くしていない
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q5 この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q6 この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
I. 強くそう思う II. どちらかと言えばそう思う III. どちらとも言えない
IV. どちらかと言えばそう思わない V. 全くそう思わない
- Q10 この授業で課される課題の量は適切ですか。
I. 多すぎる II. どちらかと言えば多い III. ちょうど良い
IV. どちらかと言えば少ない V. 少なすぎる

- Q11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q12 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q15 この授業の進度は適切でしたか。
Ⅰ. 速すぎる Ⅱ. どちらかと言えば速い Ⅲ. ちょうど良い
Ⅳ. どちらかと言えば遅い Ⅴ. 遅すぎる
- Q16 この授業の難易度は適切でしたか。
Ⅰ. 努力したが理解できなかった Ⅱ. 理解するのに多大な努力を要した
Ⅲ. 通常の努力で理解できた Ⅳ. ほとんど努力せずに理解できた
Ⅴ. 新たに学ぶことはなかった
- Q17 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
Ⅰ. 多すぎる Ⅱ. どちらかと言えば多い Ⅲ. ちょうど良い
Ⅳ. どちらかと言えば少ない Ⅴ. 少なすぎる
- Q18 教室の設備は適切でしたか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q19 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q20 この科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
Ⅰ. 強くそう思う Ⅱ. どちらかと言えばそう思う Ⅲ. どちらとも言えない
Ⅳ. どちらかと言えばそう思わない Ⅴ. 全くそう思わない
- Q21 この授業について、良かった点を、自由に記述してください。
- Q22 この授業について、改善してほしい点を、自由に記述してください。

- Q23 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q24 (教員より指示があった場合のみ記述してください) ※教員個別設定質問
- Q25 この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。
Ⅰ. はい Ⅱ. いいえ
- Q26 (Q25で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。
- Q27 この授業を遠隔授業として受講した(している)際の通信状態について教えてください。
Ⅰ. 問題なく受信できている
Ⅱ. ときどき途切れることがある
Ⅲ. 頻繁に途切れて問題が生じている
- Q28 (Q27の回答がⅡまたはⅢの場合のみ回答) 現在の通信状況について、具体的な状況、使用機器等を教えてください。

⑤ 実施科目数

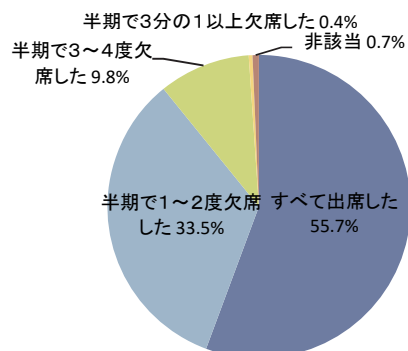
168 科目 (学部科目のみ)

2. 2022年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

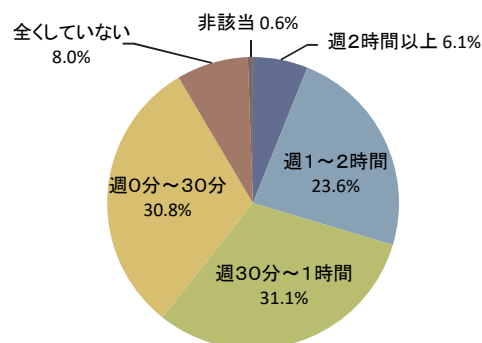
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	1,385	55.7%
2	半期で1～2度欠席した	833	33.5%
3	半期で3～4度欠席した	243	9.8%
4	半期で3分の1以上欠席した	10	0.4%
5	非該当	17	0.7%
	合計	2,488	



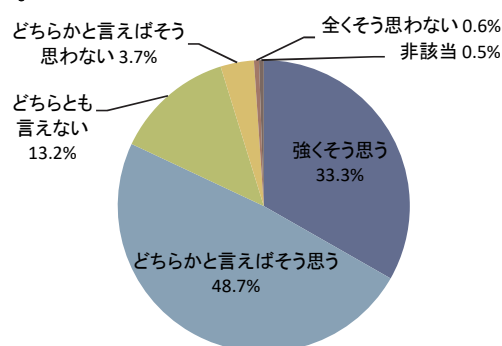
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	151	6.1%
2	週1～2時間	586	23.6%
3	週30分～1時間	773	31.1%
4	週0分～30分	766	30.8%
5	全くしていない	198	8.0%
6	非該当	14	0.6%
	合計	2,488	



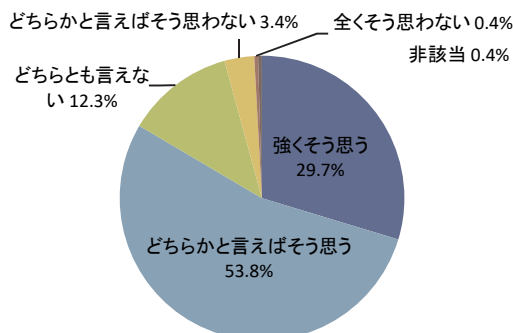
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	828	33.3%
2	どちらかと言えばそう思う	1,212	48.7%
3	どちらとも言えない	329	13.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	92	3.7%
5	全くそう思わない	14	0.6%
6	非該当	13	0.5%
	合計	2,488	



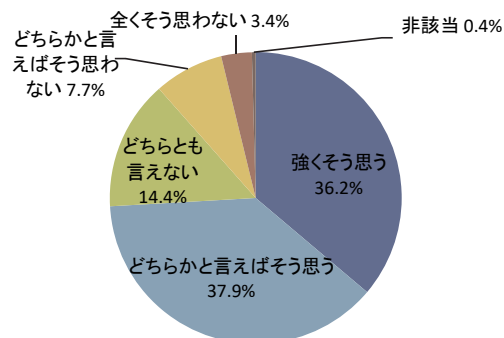
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	739	29.7%
2	どちらかと言えばそう思う	1,338	53.8%
3	どちらとも言えない	305	12.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	84	3.4%
5	全くそう思わない	11	0.4%
6	非該当	11	0.4%
	合計	2,488	



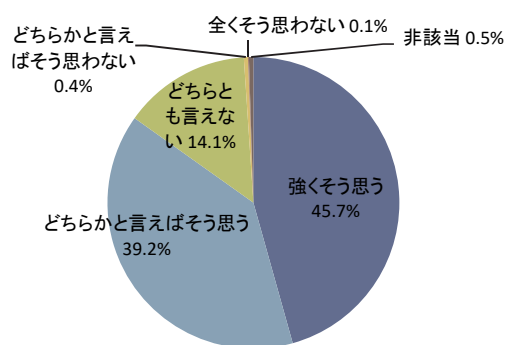
Q5 この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	900	36.2%
2	どちらかと言えばそう思う	943	37.9%
3	どちらとも言えない	358	14.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	192	7.7%
5	全くそう思わない	85	3.4%
6	非該当	10	0.4%
	合計	2,488	



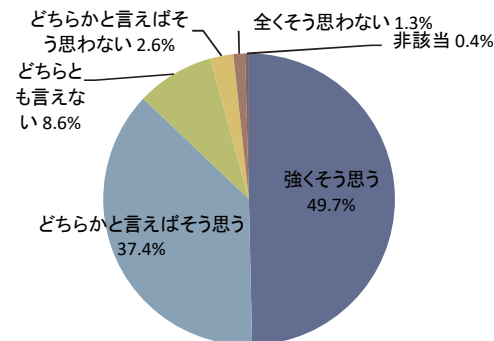
Q6 この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,136	45.7%
2	どちらかと言えばそう思う	975	39.2%
3	どちらとも言えない	351	14.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	11	0.4%
5	全くそう思わない	3	0.1%
6	非該当	12	0.5%
	合計	2,488	



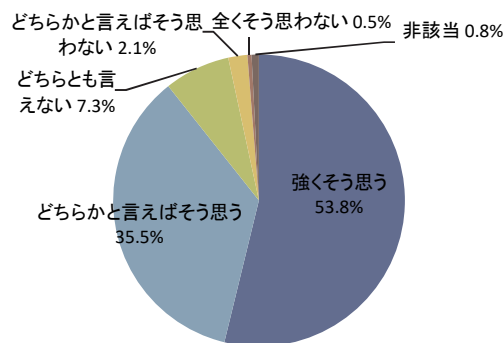
Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,236	49.7%
2	どちらかと言えばそう思う	931	37.4%
3	どちらとも言えない	214	8.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	64	2.6%
5	全くそう思わない	32	1.3%
6	非該当	11	0.4%
	合計	2,488	



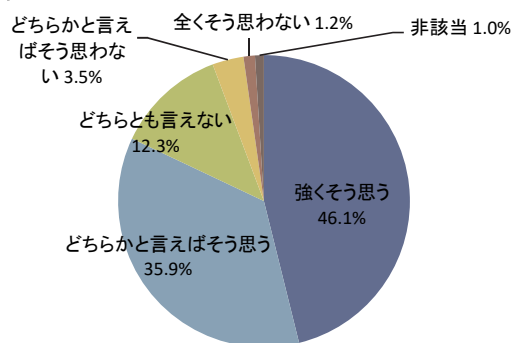
Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,339	53.8%
2	どちらかと言えばそう思う	883	35.5%
3	どちらとも言えない	182	7.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	52	2.1%
5	全くそう思わない	12	0.5%
6	非該当	20	0.8%
	合計	2,488	



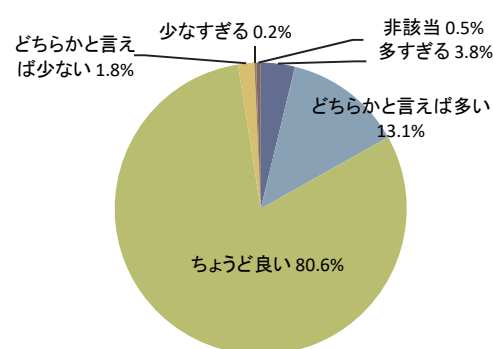
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,148	46.1%
2	どちらかと言えばそう思う	893	35.9%
3	どちらとも言えない	305	12.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	86	3.5%
5	全くそう思わない	31	1.2%
6	非該当	25	1.0%
	合計	2,488	



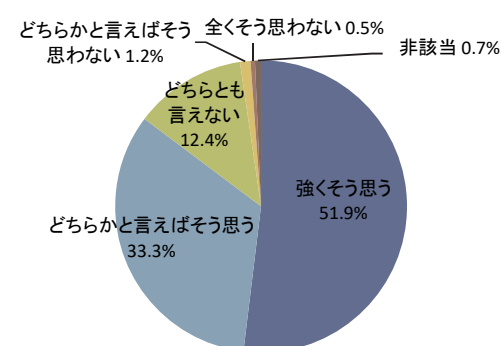
Q 10 この授業で課される課題の量は適切ですか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	94	3.8%
2	どちらかと言えば多い	326	13.1%
3	ちょうど良い	2,006	80.6%
4	どちらかと言えば少ない	45	1.8%
5	少なすぎる	5	0.2%
6	非該当	12	0.5%
	合計	2,488	



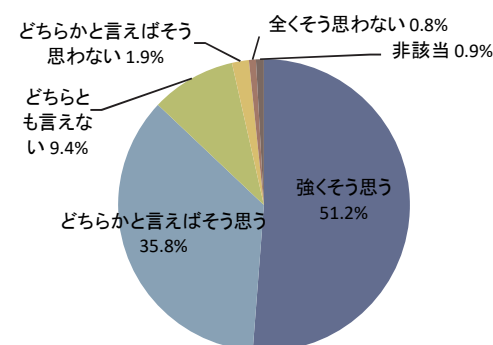
Q 11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,292	51.9%
2	どちらかと言えばそう思う	829	33.3%
3	どちらとも言えない	309	12.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	29	1.2%
5	全くそう思わない	12	0.5%
6	非該当	17	0.7%
	合計	2,488	



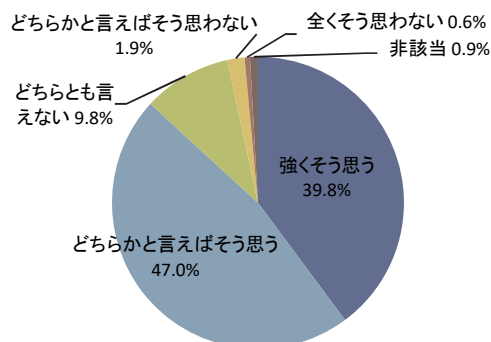
Q 12 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,275	51.2%
2	どちらかと言えばそう思う	891	35.8%
3	どちらとも言えない	234	9.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	47	1.9%
5	全くそう思わない	19	0.8%
6	非該当	22	0.9%
	合計	2,488	



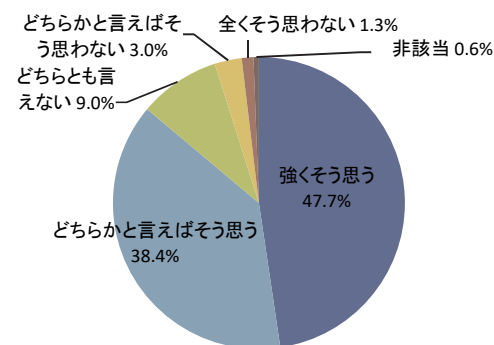
Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	991	39.8%
2	どちらかと言えば思う	1,169	47.0%
3	どちらとも言えない	244	9.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	47	1.9%
5	全くそう思わない	15	0.6%
6	非該当	22	0.9%
	合計	2,488	



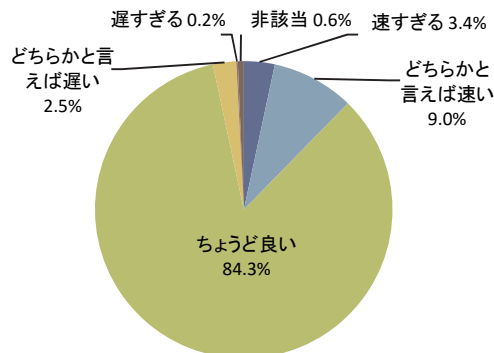
Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	1,186	47.7%
2	どちらかと言えば思う	956	38.4%
3	どちらとも言えない	224	9.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	75	3.0%
5	全くそう思わない	32	1.3%
6	非該当	15	0.6%
	合計	2,488	



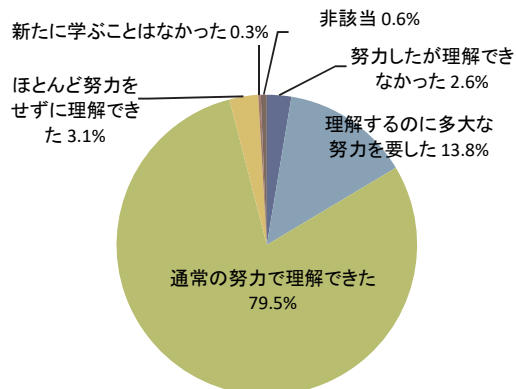
Q15 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	84	3.4%
2	どちらかと言えば速い	223	9.0%
3	ちょうど良い	2,098	84.3%
4	どちらかと言えば遅い	63	2.5%
5	遅すぎる	4	0.2%
6	非該当	16	0.6%
	合計	2,488	



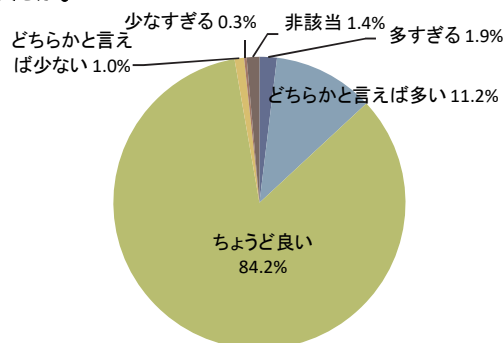
Q16 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	65	2.6%
2	理解するのに多大な努力を要した	344	13.8%
3	通常の努力で理解できた	1,979	79.5%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	77	3.1%
5	新たに学ぶことはなかった	7	0.3%
6	非該当	16	0.6%
	合計	2,488	



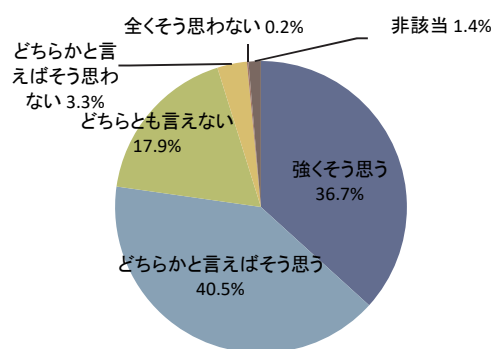
Q17 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	48	1.9%
2	どちらかと言えば多い	278	11.2%
3	ちょうど良い	2,094	84.2%
4	どちらかと言えば少ない	26	1.0%
5	少なすぎる	7	0.3%
6	非該当	35	1.4%
	合計	2,488	



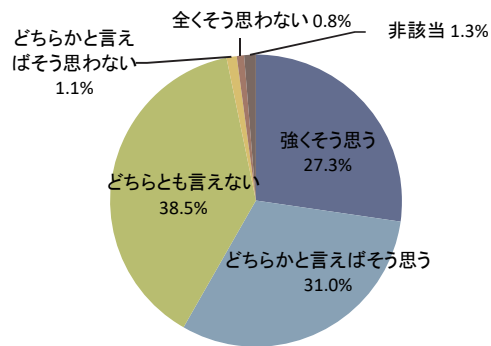
Q18 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	914	36.7%
2	どちらかと言えばそう思う	1,008	40.5%
3	どちらとも言えない	446	17.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	81	3.3%
5	全くそう思わない	5	0.2%
6	非該当	34	1.4%
	合計	2,488	



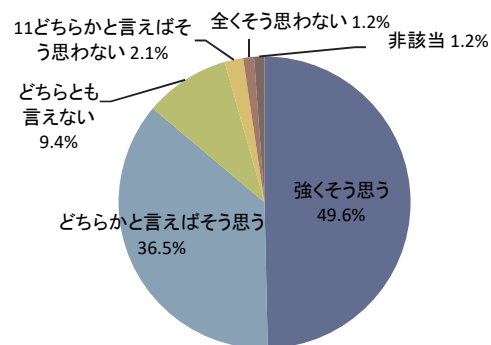
Q19 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	679	27.3%
2	どちらかと言えばそう思う	771	31.0%
3	どちらとも言えない	957	38.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	28	1.1%
5	全くそう思わない	20	0.8%
6	非該当	33	1.3%
	合計	2,488	



Q20 この科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,235	49.6%
2	どちらかと言えばそう思う	908	36.5%
3	どちらとも言えない	235	9.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	52	2.1%
5	全くそう思わない	29	1.2%
6	非該当	29	1.2%
	合計	2,488	



3. 2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

キリスト教学Ⅰ A	海老原 晴香	2022/水 1/前期
【Q14】授業内容に興味を持つことができなかつた方がいたこと、また、【Q22】に「もう少しゆっくり説明してほしい」との意見が挙げたことを、真摯に受け止めたいと思います。LMS を活用した意見・質問の即時共有、解説に努めます。		
キリスト教学Ⅰ A	海老原 晴香	2022/水 2/前期
【Q22】に、学期を通じてのコミュニオンコメントが大変だった、との意見がありました。一方で【Q21】【Q23】には、コミュニオン実施への肯定的な意見もいただきましたので、負担が大きくなり過ぎない配分や実施方法を今後も探ります。		
キリスト教学Ⅱ A	海老原 晴香	2022/金 2/前期
【Q3】 【Q4】 【Q5】 【Q8】 【Q13】 【Q14】 【Q20】 に各一人ずつ、「全くそう思わない」の回答がありました。また【Q16】に対し、「新たに学ぶことはなかった」との回答が一人ありました。15回の授業においては、キリスト教を通しての学びの切り口が偏らないよう努めます。 【Q22】に、「生死を扱うことが多く、もう少しポジティブな内容を」との意見がありました。暗い気持ちにさせてしまうことは本意ではありませんが、テーマによってはどうしても、ということがあります。継続して教材吟味します。		
キリスト教学Ⅱ A	海老原 晴香	2022/金 3/前期
【Q22】 教員の話に長時間集中することが難しい、との意見がありました。アクティビティや途中休憩を組み込みながら、メリハリある授業運営に努めます。		
宗教学Ⅰ U/Ⅲ U	海老原 晴香	2022/木 2/前期
【Q22】 エクセル資料が見にくかった、とのご指摘がありました。改善します。		

観光文化論	遊佐 重樹	2022/金 2/前期
<p>【Q22】「毎回の課題が 400 字程度は大変だった」</p> <p>オンライン授業という特殊な条件のもと、学生からのリアクションペーパーは理解度をはかり、コミュニケーションをとる手段として必要なものです。提出には 1 週間の猶予があり、また字数も時には 200 字程度の回もあるので、分量としても適切であったと考えます。</p> <p>【Q23】「歴史上の観光の変化や観光にまつわる様々な知識を学んだ」</p> <p>この授業の狙いや到達点をよく理解してもらいました。観光を産業の視点から捉えるとともに文化論としても多角的に考察し、自身の経験も交えながら知識を深めてもらえたことと思います。</p>		

心理学概論A	堀口 康太	2022/水 4/前期
<p>授業アンケートへの回答をありがとうございます。資料の見やすさ、説明のわかりやすさ等のよかった点を挙げていただきました。さらにより授業を届けるために、以下の結果については、改善策を考えていこうと思います。</p> <p>【Q15】 授業の進度について</p> <p>13.5%の人が授業の進度を早く感じていました。早いと感じていた方にも適切な進度になるように、授業中に進度を確認していくようにしたいと思います。</p> <p>【Q22】 授業の改善点について</p> <p>(1) 講義形式ではないものも取り入れてほしい</p> <p>体験型の授業にしたり、カウンセラーに必要な知識を取り入れてほしいといった意見をいただきました。今年度もコロナ対策に留意しつつ、少しずつグループワークを取り入れる等させていただきましたが、来年度は講義以外の時間も増やす工夫を考えたいと思います。</p> <p>(2) 説明が難しい、わかりにくい時の対応</p> <p>講義形式なのでその場では質問できないという意見をいただきました。もしわからない部分があれば、講義後の時間に来ていただいてもいいですし、メールでの問い合わせにも応じていますので、遠慮なく質問してください。</p> <p>(3) 教室の室温について</p> <p>教室が寒い、気温が低いという意見を複数名の方からいただきました。教室の室温については、みなさんの意見を聴きながら、調整していきたいと思います。</p>		

② FD 推進委員会からのメッセージ

FD 推進委員会は良い学びについて考える機会を様々な形で提供したいと考えています。「授業改善のための学生アンケート」もその試みの一つです。アンケートの結果を踏まえ、学生のみなさんにより快適に学んでいただけるよう授業環境の改善にとりくんでいます。

設問にはアンケート自体の適切性を問う項目も設けていて(「Q25 この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか」)、今回の回答結果は以下のとおりでした。

「はい」	2161 件	86.8%
「いいえ」	26 件	1.1%
「無回答」	301 件	12.1%

このうち「いいえ」の方には、「Q26 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください」に答えていただきました。そこで多く見られたのは「アンケート項目をもう少し減らしてもよい気がする」「質問数が多すぎる」といった意見です。こうした声はこれまで多く寄せられていながら、十分に対応することができていませんでした。

質問を多く設けていたのは、受講の様子を様々な角度からお尋ねするためですが、アンケートそのものが負担を強いてしまっは本末転倒です。この点を重くうけとめ、2023 年度からは設問項目を精選し、アンケートに対処しやすくする方向で検討を進めています。

今後もみなさんのご意見が効率的かつ効果的に授業に反映されますよう、アンケートの改善を続けていきたいと思ひます。

「授業改善のための学生アンケート」2022 年度前期 顕彰授業について

「授業改善のための学生アンケート」は 2010 年度より実施し、2017 年度からは集計結果を活用した顕彰制度を導入しています。アンケートの結果は個々の授業改善に役立てられているほか、高評価を得た授業を公表し、その授業の優れている点を大学全体で共有しています。なお 2022 年度より 2 年間で全科目のアンケートを実施することとなり、今年度は履修者数が概ね 26 名以上の授業についてアンケートを実施いたしました。

2022 年度前期の結果は以下のとおりです。顕彰された授業についてのインタビュー等を追って公開する予定です。授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

2022 年度前期

金 1 前 「キャリア研究」山本 みどり (文学部英語英文学科)

白百合女子大学「授業改善のための学生アンケート」の目的 (実施要領より抜粋)

- ① さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。
- ② 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- ③ 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- ④ 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- ⑤ 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

白百合女子大学「授業改善のための学生アンケート」の集計結果を活用した顕彰制度

[実施方法]

- ① 実施時期は各学期末とし、前期末は前期科目、学年末は後期科目と通年科目を対象とする。
- ② 集計の単位は授業毎とする。学部科目と大学院科目を区別しない。
- ③ 集計する設問は、以下の 7 項目 (項目毎の平均点の合計/35 点満点) とする。
 - Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
 - Q4 この授業の内容を十分に習得できましたか。
 - Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
 - Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
 - Q11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
 - Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
 - Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- ④ 顕彰対象は当該年度のアンケート実施対象授業とする。
- ⑤ 顕彰対象は各学期第 1 位の授業とし、その授業の担当教員へ表彰を行う。
- ⑥ 表彰授業・担当教員名は、大学 Web サイトにて公表する。

[実施主体]

白百合女子大学 FD 推進委員会

以 上

「授業改善のための学生アンケート」 2022 年度前期 顕彰授業における工夫

2022 年度前期「授業改善のための学生アンケート」の顕彰授業における工夫をご紹介します。

【参考】 顕彰の対象となったアンケート項目は以下の 7 項目です。

- Q3 この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

< 顕彰授業 >

「キャリア研究」 山本 みどり（文学部英語英文学科非常勤講師） 2022 金 1 前期

“キャリア”とは“人生”です。この「キャリア研究」は、自身の将来を考え、将来に向かい、これからの学生生活をどのように過ごしていくのかを明確にする授業です。自分の将来のために毎週金曜日のこの時間は正直に、真剣に、自分と向き合ってください。…毎年初回授業の冒頭に、このようなお話をしています。今回の顕彰は履修学生のみなさんが、この最初のお願いを受け止め、真摯にご自身と向き合ってくださいました結果だと感じています。

授業は現在の雇用環境を理解するところからスタートします。その後、過去の自己分析、今の自己分析、現在の大学生生活の整理、今の時代を知ること、と進みます。外部環境と今の自分の現状を正しく把握したうえで、では今「やりたいことは何か」を考え分析し目標を設定、授業後半の 1 ヶ月半余りで達成に向けて取り組んでいただきます。取り組むことは何でもよい、“やりたい！”がいちばん大切です。日々の生活でその目標に取り組んでいただきながら、後半の授業は、女性の働き方、経済について、就職活動について、触れていきます。また“やりたいこと”は取り組み前と取り組み後にプレゼンテーションを行い、その過程をレポートにいただいています。失敗してもよい、違う目標に変化してもよい、その過程で気づいたことや、やりたいことを行動に移した、という事実が重要、とみなさんにお伝えしています。

この前期も、学生のみなさんの数だけ、想いのある豊かな“やりたいこと”が出揃いました。ヨーデルが歌えるようになりたい、株の勉強がしたい、朝早く起きられるようになりたい、料理ができるようになりたい、ウクレレが弾けるようになりたい、字を美しく書けるようになりたい、…いずれも学生のみなさんが自分で考え判断し、選択した目標です。授業においては一人ひとりを知ること、一人ひとりの取り組み状況を理解することに努めました。

自分との約束を果たしていくことで“やりたいこと”が“できること”に変化していきます。そうすると自分への信頼が高まり自信が生まれ、さらに先への一歩が踏み出せるようになって考えています。この授業での取り組みが、その先の将来を自分で考え判断し、選択すること（＝キャリア自律）に繋がるよう、設計をしています。大学生活にチャンスはたくさんあります。学生のみなさんが、やりたいことを“やりたい！”だけで終わらせず、“できた！”を増やして将来の可能性を広げられるよう、これからも支援をしてまいります。

履修学生のみなさん、意欲ある参画、ありがとうございました。

